






## 高等部 作業学習

### 本学習における見どころとアクティブ・ラーニングのポイント

<b>見どころ</b>	<p>自信をもって行える作業内容を個別に設定し、製品作りに貢献する体験を積み重ねることを通して、生徒の主体的な取組や責任感や自己肯定感の育成、キャリア発達につながる学習活動を展開する。</p>
<b>主体的 対話的（協働的） な学習のために</b>	<p><b>I</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの生徒が自分で作業を進めることができるようにスモールステップの課題を設定する。</li> </ul>
	<p><b>II</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>活動場面によってT 1、T 2で役割分担を行い、一人ひとりの生徒に合ったきめ細かな支援を行う。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p><b>全体の学習内容を説明</b></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><b>作業工程によって支援分担</b></p> </div> </div>
	<p><b>【ユニバーサルデザイン】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の様子を具体的に振り返ることができるようにするためにタブレット型端末のカメラ機能を使い、拡大鏡として使用したり、以前の活動を撮影した写真と本時の活動を撮影した写真とを比較したりできるようにする。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p><b>カメラ機能を使った比較</b></p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <p><b>【合理的配慮】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作業の進め方がうまく理解できない生徒には、タブレット型端末で撮影した動画による手本を提示する。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p><b>生徒の様子を撮影</b></p> </div>

※ 表中のⅠ～Ⅲは、「Ⅰ 個別主眼の設定（主発問の工夫）」「Ⅱ T Tの工夫（学習形態の工夫）」「Ⅲ ICTの活用」を表す。

1 単元名 「みんなで力を合わせてガーゼハンカチをつくろう」

2 単元の目標

- ① 生徒の実態に即したスモールステップによる課題設定をしたり、補助具を用意したりすることで、製品を作る技能を向上させることができる。 (知識・技能)
- ② 作業の様子動画をしたり、作った物を観察したりする活動を繰り返すことで、自分や友達のよい点や改善点を考えることができる。 (思考力・判断力・表現力等)
- ③ 製品完成への貢献を実感することで、自分の行った作業に達成感や自信をもち、身に付けたことを他の学習等に生かしていこうとする態度を培う。 (学びに向かう力・人間性等)

3 本時案

(1) 共通主眼

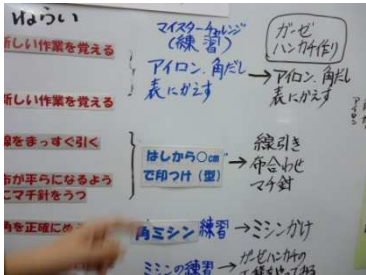

- ① ガーゼハンカチ作りの工程の中で、自分に合った工程の課題にスモールステップで取り組むことを通して、作業に必要な技能を向上させることができる。 (知識・技能)
- ② タブレット型端末の動画や写真をみんなで見る活動を通して、友達や自分の作業を確認し、友達や自分のよいところや改善点に気付くことができる。 (思考力・判断力・表現力等)
- ③ 作業の成果や技能の向上を相互に認め合い、更によりガーゼを作ろうとする意欲をもつことができる。 (学びに向かう力・人間性等)

(2) 準備物

拡大工程表、手元の手順書、工程ごとの実物見本、補助具、切ったガーゼ、やすり台、紙やすり、透明型紙、鉛筆、マチ針、ミシン、裁縫セット(ハサミ、チャコペン、糸切りバサミ、リッパー)、カゴ、アイロン、タブレット型端末、TV

(3) 学習過程

<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 15px; margin-right: 5px;"></div> : 主発問 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px; margin-right: 5px; text-align: center; line-height: 15px;">主</div> : 主体的な活動のための手立て	<div style="text-align: center;">◎ : 全体への支援  <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; width: 15px; height: 15px; margin-right: 5px; text-align: center; line-height: 15px;">対</div> : 対話的な活動のための手立て         </div>
--	---

学習活動 学習内容	指導及び支援
1. 本時の活動内容を確認する。 ・ 作業内容 ・ 作業工程	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <b>自分に合った作業を担当し、みんなでガーゼハンカチをつくろう</b> </div> ◎ 自信をもって活動できる作業工程を分担する。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">主</span> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>

個別の作業内容・工程の提示

	<p>◎作業内容を個別に提示し、生徒一人一人に作業内容をわかりやすく伝える。</p>
<p>2. 分担した作業工程に従いガーゼハンカチづくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印つけ</li> <li>・待ち針の使い方</li> <li>・布の角出し</li> <li>・布への線引き</li> <li>・ミシンがけ</li> </ul>	<p>◎作業する生徒の手元を動画で撮影しておき、作業動作を確認したい時に提示する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="443 448 951 752">  <p style="text-align: center;"><b>動画の撮影場面</b></p> </div> <div data-bbox="1008 448 1337 752">  <p style="text-align: center;"><b>撮影した動画の提示場面</b></p> </div> </div> <p>◎個別に手順書を手元に置き、すぐに確認できるようにする。主</p> <div style="text-align: center;">  <p style="text-align: center;"><b>個別の手順書の一例</b></p> </div> <p>◎一つの作業が終わる度に作業の進行状況を確認し、よい点を称賛することで自信をもって作業を行えるようにする。主</p> <div style="text-align: center;">  <p style="text-align: center;"><b>個別に確認をしている場面</b></p> </div>
<p>3. 評価・振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上手くできたと</li> </ul>	<p>◎上手くできたところや上達した部分を称賛し、達成感をもたせたり、次の作業への意欲を喚起したりする。主</p> <p>◎タブレット型端末で以前の作業場面と今回の作業場面をテレビで提示</p>

ころ  
・上達したところ

し、上達ぶりを視覚的に捉えさせ、達成感をもたせる。主



タブレット型端末を使用して上達したところを提示

◎本時の作業個所をタブレット型端末のカメラ機能で撮影し、拡大してテレビに映し出し、視覚的に作業の状況を確認できるようにしたり、感想を伝え合うように言葉がけを行ったり、教師から質問をしたりし、生徒が相互に良さを認め合えるようにする。対



作業個所を拡大した確認場面

#### 4 指導及び支援のポイント

##### I 個別主眼の設定

- ・生徒一人一人の課題に即した作業工程・作業内容をスモールステップで設定したり、生徒が役割を分担して作業を行い、製品を完成させたりすることで、責任感や自己肯定感を育てることができるようにした。その結果、生徒一人一人が成功体験を積み重ね、自信をもって主体的に活動に取り組むことができた。

##### II TTの工夫

- ・難易度が比較的高いミシン作業の工程と難易度が比較的低い他の作業工程を生徒の実態によって担当を振り分け、教師も作業工程を分けて担当することで、難易度の高いミシン作業の工程を行う生徒にもきめ細やかな指導を行うことができた。また、担当教師を固定することで、前回の作業と本時の作業を比較することができ、取組姿勢や技能の向上を即時評価し、良い点や改善点をフィードバックすることができた。
- ・作業を行う場面と振り返りを行う場面で、全体の進行と生徒の個別対応をする教師の役割を入れ替えることで、生徒がそれぞれの場面で気持ちを切り替えやすくなり、スムーズに学習に取り組むことができた。

### Ⅲ ICTの活用

- ・ミシン操作の手順や作業工程を確認する際、手順書やタブレット型端末の動画、補助具を活用したことで、主体的に活動に取り組むことができた。
- ・タブレット型端末のカメラ機能を活用することで視覚的に理解しやすくなり、言葉の説明の理解に課題がある生徒が、自分の作業を振り返りやすくなった。

#### (その他)

- ・評価・振り返りの時間を十分に確保することで自己肯定感を育て、意欲をもって学習に取り組むことができた。
- ・振り返りシートに一番頑張ったことを記入させたり、できたガーゼハンカチの枚数分のシールを表に貼ったりして、視覚的に達成感を味わうことができるようにすることで、生徒が意欲的に学習に取り組むことができた。

